



市民病院

ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

あなたの禁煙 応援します

たばこの煙には、4,000種類もの化学物質が含まれ、そのうち200種類以上が有害物質です。発がん物質も50種類以上含まれ、肺がんやこう頭がん、食道がんなど様々ながんの誘因になると言われています。また、がんだけでなく、肺気しゅや脳卒中、心筋こうそく、胃かいようなど多くの病気のリスクを高めることがわかっています。

たばこに含まれる有害物質でよく知られているものがニコチンです。ニコチンには強い依存症があり、これがたばこをやめられない原因の1つです。禁煙は自分ひとりではなかなかできません。そこで、病院のサポートを受けながら禁煙を実現してみませんか。

市民病院では、毎週水曜日に禁煙外来を行っています。計5回、3か月かけて禁煙治療をすすめていきます。個人に合わせた禁煙のアドバイスや禁煙補助薬を処方します。なお、条件を満たせば健康保険を使えるため医療費の負担が少なくなります。

禁煙して病気を予防することは、自分だけでなく、家族や周囲の人たちの健康や生活にとっても良いことです。遅すぎることはありません。禁煙を成功させたいと思った人は、禁煙外来を是非受診してください。



△市民病院の禁煙外来担当医師と看護師

碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

No.34 人物小伝

永井 賓水

永井賓水は西三河で有名な俳人です。「アヲミ」という俳句雑誌を編集発行し、新川小学校の校歌も作詞しました。



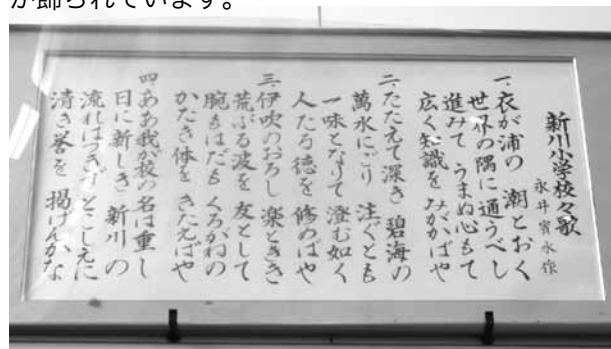
彼は明治13年（1880年）、碧海郡大浜村の材木屋の四男として生まれ、15歳のときに大浜小学校の教師となります。そして漢詩や和歌、俳句を様々な師の元で学んでいきました。俳句雑誌「ホトトギス」を手がけたことで有名な高浜虚子や、碧南出身の美術工芸家・藤井達吉とも親交がありました。

「アヲミ」は大正3年（1914年）に創刊され、途中休刊もありましたが、昭和17年（1942年）に通巻189号で廃刊します。



△アヲミ（市所蔵）
表紙の絵は藤井達吉

新川小学校の校歌についてご紹介します。賓水は新川小学校の校歌を作詞し、昭和12年（1937年）10月号の「アヲミ」にそれを掲載しました。その翌11月号の「日誌抄 賓水記」には、新川小学校の先生からお礼の手紙があり、「（略）歌へば歌ふ程味が出る。親しみのある校歌だ。（略）」と書かれていて、賓水は「うれしい手紙を送られた」と載せました。昭和34年（1959年）、賓水は79歳で生涯を閉じますが、現在も新川小学校体育館には、その校歌額が飾られています。



△新川小学校歌額